

【樹木の部屋】

ラクウショウ（スギ科ヌマスギ属 *Taxodium distichum*）

和名：ラクウショウ（落羽松） **別名**：ヌマスギ（沼杉） **英名**：

マツ目 落葉針葉高木 **原産地**：北アメリカ

花言葉：大胆 **花の色**：



← **写真-1** ラクウショウの樹形

撮影日：2013年7月17日

撮影場所：インスブルック（オーストリア）にて

撮影者：M さん



→ **写真-1** ラクウショウの枝

撮影日：2013年7月17日

撮影場所：インスブルック
（オーストリア）にて

撮影者：M さん



← **写真-1** ラクウショウの葉

撮影日：2013年7月17日

撮影場所：インスブルック
（オーストリア）にて

撮影者：M さん

珍しい樹を見つけました。ラクウショウまたはヌマスギと呼ばれる樹です。イ

ンスブルック市内の公園散策中にみかけた、非常に柔らかい風情の樹木でした。葉の様子はメタセコイアに酷似、でも、樹形が・・・？。調べてみるとラクウショウ・・・。メタセコイヤと同じ針葉樹の仲間で落葉樹。

アメリカ大陸東南部からメキシコに分布。日本にも移植され公園などの池のそばに植えられているそうです。

湿潤地に適し、沼沢地での根元が少し水につかった状態（冠水）で自生することが多いことから、日本ではヌマスギと呼ばれています。花は雌雄異花で開花期は4月頃。果実は緑色の球形。

長期間の水没に耐え、普通の場所に植栽すると気根を出すことはないが、湿潤地に生育すると独特の気根を形成するそうです。

辺材は器具に、心材は精油を適度に含みながらも大きな気室を持つ細胞構造のため、軽量で土中や水中で腐朽しにくく、その特質を生かし土木（枕木など）、船舶材、建築（屋根板など）などとしても利用されているそうです。繁殖は実生、挿し木。

<ちょっと一言>

① 気根とは、根の上側が生長して空気中に出てくるもので、膝根と呼ばれる。

②ラクウショウとメタセコイアの違い

＊ラクウショウ *Taxodium distichum*

- ・スギ科ヌマスギ属

- ・樹形はほぼ円錐形で途中が少し膨らみ、全体にふっくらとした形をしている。

- ・枝および葉は互生

- ・果鱗の先は四角っぽい楕形

＊メタセコイヤ *Metasequoia glyptostroboides*

- ・スギ科メタセコイア属

- ・樹形はきれいな円錐形

- ・枝および葉は対生

- ・果鱗の先は横に長くて中央がへこみ人の唇に似る